令和元年度　熊本県における森林環境譲与税の使途実績一覧

番号	事業名	事業総額（千円）			当年度基金への積立額（千円）	事業内容	実績									税導入の効果
		(A)+(B)	(A)うち令和元年度の森林環境譲与税（千円）	(B)うち他の財源（千円）			市町村等を対象にした研修会・講習会			アドバイザー等が支援を行った市町村数	事業体等への助成		担い手を対象にした研修・講習、求人イベント等		活動内容等	
							回数（回）	参加者数（人）	市町村数		事業体数	支援対象者数（人）	回数（回）	参加者数（人）		
1	新たな森林管理システム活動支援事業	5,482	5,482	0		森林経営管理制度における市町村の活動を支援するための相談デスクの設置、巡回支援体制の整備	2	120	41	44					・延べ134回の相談対応を実施。	本県の森林資源が充実する中、森林資源の適切な管理を通じて林業成長産業化を実現していくため、森林経営管理制度の円滑な運営のための市町村の活動支援、林業担い手の確保や育成、木材生産体制づくりの強化を図るとともに、木材需要を安定して確保していくことが急務となっていることから、本税を活用して事業を実施した。 森林整備分野においては、新たに運用が開始された森林経営管理制度に関する相談デスク及び巡回支援体制の整備により134件の相談対応を行うとともに、森林クラウドシステムの構築等で市町村の活動を支援し、その結果26市町村において経営管理意向調査が開始された。 林業担い手分野においては、くまもと林業大学校における就業準備給付金として生徒17名に給付を行ったほか、林業の魅力等を県内外へ広く情報発信するPR事業の実施、林業経営体の木材生産活動等の強化のための林業機械の導入、防護服や測量器具の購入等に対する支援を行った。 木材利用分野においては、コスト増や耐久性の不安等からＲＣ造等が選択される傾向にある中大規模の公共建築物の木造化推進のため、木造３階建ての標準設計書を作成するとともに、施主や建築士等へのアドバイスや現地見学会等の開催により、中大規模木造化に向けた環境整備に繋がった。 残額は、令和３年度以降の人材育成・担い手対策等のため、令和２年度中に基金に積み立てる予定としている。
2	熊本県森林情報共有システム構築事業	32,878	32,878	0		森林経営管理制における市町村の活動を支援するための森林クラウドシステム及び森林施業委託設計システムの構築、地域林政アドバイザー研修の実施（一部繰越で実施）	1	59	36						・森林クラウドシステムを構築し、県内全市町村に開放した。 ・森林クラウドシステムの講習会を開催（２回）。	
3	くまもと林業大学校人財づくり事業	83,711	12,931	70,780		くまもと林業大学校を核とした新規就業希望者や林業経営者等の担い手確保・育成対策に取り組んだ（給付金やPR事業）。					1	17			・くまもと林業大学校【長期課程】生徒17名に対して就業準備給付金を交付。 ・林業担い手確保・育成対策の事業推進のため、林業大学校ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞやPR資材を制作。	
4	意欲と能力のある林業経営者育成推進事業	24,893	24,893	0		林業の成長産業化や森林経営管理システムに対応できる林業経営体の確保・育成に取り組んだ（森林整備や木材生産体制づくり）。					9	9			・森林整備や木材生産の実施に必要な林業機械や資機材の購入経費等を支援（9経営体）。	
5	中大規模建築物等木材利用推進事業	9,243	9,243	0		市町村や社会福祉法人等に対し、木造化へ向けた直接的な働きかけの実施。及び、木造設計を担う建築士等に対し、木構造設計等の技術力の向上を図る。	7	220		4	4	19			・木造三階建てビルの標準設計書の作成。	
6	森林環境譲与税基金積立事業（予定）	23,621	23,621	0	23,621	令和３年度以降の人材育成・担い手対策等に備え、基金を積立										